

～市制施行60周年記念連載企画～



あなたのまち、 ちょっと振り返ってみませんか？

市制施行から**60年**。私たちのまちは田畑が広がるのどかな町から、暮らしやすさと活気に満ちあふれた街へと大きく姿を変えてきました。本連載では、過去の記録から、60年に及ぶ戸田市の歴史を振り返っていきます。今回は、戸田市の学びと文化の発展を紹介します。

学びと文化編

小・中学校の建設 ～子どもたちの声があふれるまち～

市制施行後の人口増加に伴い、市では小・中学校と保育園の建設を推進しました。1970年代には、市内各所で新しい校舎が建設され、笹目東小学校、新曽北小学校、喜沢中学校、新曽中学校、笹目中学校の5校が開校しました。

新設校の建設が続き、まちにはたくさん子どもたちの声があふれました。



▲建設当時の笹目東小学校



▲建設当時の新曽北小学校

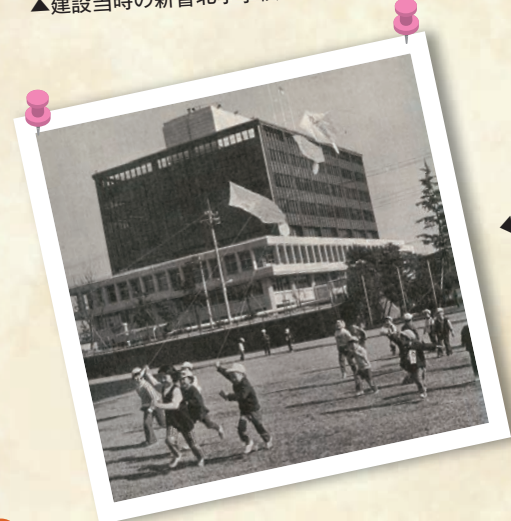
戸田ふるさと祭りの初開催 ～市民が主役の祭り～

1975年には、「戸田ふるさと祭り」を初開催しました。

第1回は8月22日～24日の3日間にわたり開催し、旧市役所（現在の上戸田地域交流センター [あいバル]）と中央通りが会場で、盆踊りを中心とした盛大なお祭りとなりました。

戸田ふるさと祭りは、令和8年に第52回を迎え、10月24日（土）、25日（日）に、商工祭と同日開催予定です（※）。「ふるさと意識の醸成」や「市民同士の交流」を大切にしながら、一大イベントはこれからも続いていきます。

※詳しくは2ページをご覧ください



◀後谷公園で遊ぶ子どもたち

第1回ふるさと祭り▶

